



デング熱に注意しましょう！



平成26年8月に、国内でデング熱に感染した症例が、昭和20年に報告されて以来、約70年ぶりに報告されました。デング熱は、蚊を介して感染する感染症で、ヒトからヒトには感染しません。日頃から、デング熱の原因となる蚊を増やさないために、蚊の幼虫の発生源となる、自宅周辺の植木鉢やプランターの受け皿、タイヤ等の水たまりを作らないように1週間に1回は点検しましょう。

デング熱とは…

- ①発生状況 アジア、中南米、アフリカなど熱帯・亜熱帯に広く見られます。
- ②感染経路 ・ヒトからヒトへの直接的な感染はありません。
・患者を刺し、ウイルスを保有した蚊が媒介して感染が広がります。
- ③症状 ・突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹が見られます。
・感染しても、発症する頻度は、10～50%です。
・予後は比較的良好ですが、まれに重症化することがあります。
・潜伏期間は2～15日とされていますが、多くは3～7日で発症します。
- ④治療 対症療法を行います。有効なウイルス薬はありません。



予防としては、蚊の多い場所では、長袖・長ズボンを着用したり、虫除け剤を使用しましょう！

園 保健福祉課 健康増進係 ☎(44)2300

温かいご支援ありがとうございました

災害復興支援金 町の復旧・復興、まちづくりのためにご支援いただきました。



7月25日、大池公園で開催された「真夏の夜の鼓動」の席上で、門馬智幸師範から栗林教育長へ浄財が手渡されました。

・国際空手道連盟 極真会館 世界総 極真 門馬道場 師範 門馬智幸 様




7月28日、町役場で贈呈式が行われ、緑川敬一県南支部長から野崎町長へ浄財が手渡されました。

・福島県歌謡協会県南支部 支部長 緑川敬一 様

～JA東西しらかわ～
 齋場選びは信頼・安心・いつも身近なJAで
JA 齋苑やすらぎの杜
 年中無休・24時間受付
 矢吹 齋場 TEL. 0248-42-2221
 〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町283

オータムジャンボ宝くじ
 ◆発売期間◆
9月28日～10月16日
 この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。



私のひと言



矢吹町長 野崎吉郎

「今年も暑く、熱かった矢吹の夏」

1年で最も気温が高く大汗をかいて過ごす時期、8月「葉月」。葉が散り始まるという意味から由来し、旧暦では「葉月」は、秋の季節となる。すでに「立秋」も過ぎた。この日以降の暑さが残暑になるといふ。残暑と聞けば、少しは暑さが和らぐ日があってもおかしくないのだが、今年も連日猛烈に暑い。風が吹いても熱風だ。夜も暑くて眠れない。

屋外で暮らす動植物にとっても大きな迷惑だ。涼しい部屋で過ごす我家の愛猫「アニキ」と「チビ」、「カメ」という名のカメには快適な毎日だが、屋外の愛犬「ハナ」は、余りの暑さにグッタリ。犬知恵で少しでも涼しさを、また体温を下げるため、居所の土を15～20cm位まで、足で

掘り下げてはみたものの、所詮浅知恵。効果はないようだ。救いを求めるかのように、情けない顔をしながら、つぶらな瞳で私を見つめる。少しでも涼しくなるよう、居所に水を打ったり、影が濃い場所へチェーンの位置をずらしたりしてはみたものの焼け石に水。蝉もヤケクソだ。夕方頃まで鳴くのは当り前だが、今年は猛暑のせい、夜の8、9時頃まで、ミンミン蝉が、ヒグラシ、ツクツクボウシが鳴き止まなかった。庭の花への水やりも大変だ。我家の場合、外も暑い家の中も暑い。外から帰って玄関に入ると36～7℃。歩を進め、2階の自分の部屋の廊下の温度計は38～9℃を超えている。夜になっても気温が下がらない。例年だと、そよつくと吹く夜風が何とも気持ちいい、そんな時間を楽しめるのだが、今年はそのほかない。さらに厄介なのは、夕食後の日課となっている「ハナ」の散歩だ。20～30分の散歩を終えると汗びっしょり。頭から顔から汗が吹き出し、汗が止まらない。汗をかくのはいいのだが、大汗により背中のがれも痒くてたまらないのが悩みの種だ。このように暑い矢吹の夏。今

年も暑くて熱い矢吹の夏も様々なイベントや出来事があった。そんな矢吹の夏を振り返ってみたい。

7月25日は、「真夏の夜の鼓動」がまさしく、真夏の好天に恵まれ、大池公園にて熱い太鼓の演奏が繰り広げられた。湖面に浮かぶ無数の灯籠と夜空に浮かぶ打ち上げ花火が、幻想的な夜を演出してくれた。今年で24回目を数えることになった。

8月1日には「第15回やぶき夏まつり」と「第38回踊り流し」が駅東側で開催された。今思えば、その日は今年の夏で最も暑い、そして最も暑い一日だった。踊り流しには15団体、約700名と、例年になく多くの団体、踊り手が参加して、「矢吹音頭」を楽しんだ。

中畑清旗争奪ソフトボール大会が、8月8日、9日の両日、矢吹球場をメイン会場に盛大に開催された。中畑清さんの熱い想いが込められたこの大会も32回目を迎えた。今年も県内各地のスポーツ少年団96チームと管内中学女子ソフトボール部9チーム、合せて105チームが熱戦を繰り広げた。善郷ソフトボールスポーツ少年団が、あゆりプロ

ックで優勝。矢中女子チームも第3位と健闘した。炎天下での選手達の熱戦が、中畑清横浜DeNAベイスターズ「優勝」へ向けての力強い声援となったものと確信している。そして、久々にホットでピググなニュースも飛び込んできた。千葉（丹野）麻美さんが8月22日、北京で開催される世界陸上選手権女子4×400mリレーの日本代表に選ばれたのだ。ご存知のように400mの日本記録保持者。2008年北京五輪代表。今回の世界選手権の記録いかんにより、来年のリオデジャネイロ五輪出場がかかる重要な大会となる。ママさん選手として頑張る千葉選手に心からの祝意を贈ると共に、8月29日の決勝レースには町を挙げて応援したい。熱いレースを期待する。千葉選手ガンバレ！

そして、忘れてはならない行事、「盆踊り」。私の記憶では、10数年前には、町内13ヶ所で「盆踊り」が催されていた。今や2区、5区、三城市、神田の4行政区と、矢吹、しらうめ荘、緑風園の2団体、合せて6ヶ所での「盆踊り」が開催されるだけとなった。数は減ったが、この「盆踊り」

が開催される意義は大きい。あの世の先祖様の供養と、この世に生きる人々の喜びに意義を見出すお盆の伝統行事。先祖に恥じない、そして、この世の我々が更なる元気な地域を作ることを約束する大切な時間だと、私は思っている。こんなときだからこそ、この「盆踊り」という貴重な行事を失くしたくないと強く思う。今夏、嬉しい出来事が起きた。そんな思いを共有する神田行政区の皆さんを中心とする「第1回三神地区夏まつり」が、この夏開催されたことだ。来年の夏にも新たにまた一つ、そして、また一つと増えてくれることを只管願う。

このように、今年の矢吹の夏も多くの町民に支えられた夏だった。本当に有難く、様々なイベントに携わった多くの皆さんに感謝する。有難うございました。

外に目を移すと、田んぼの稲穂も頭を垂れはじめた。順調に豊作の秋を迎えられることを心から願う。

今日もまた暑い。しばらく暑い日が続くという。お盆が終ろうとしている今、秋風が、そよつと吹く、そんな秋の訪れを思い浮かべながら今月のひと言とする。